

Jitāri の *Bodhicittotpādasamādanāvidhi*

—「七支清淨行」を中心として—

白 崙 顯 成

Jitāri のチベット文のみで伝えられている著作に『発菩提心及び誓願受持の儀軌』、*Bodhicittotpādasamādanāvidhi* (D No. 3968, 4493, P No. 5365, 5406) がある。この著作は Śāntideva の伝統にしたがって中観派の菩薩律儀を説くものである。それは次の様に構成されている。

チベット語訳者の拝語

帰敬偈

発菩提心儀軌

P380a6

1 善友から受戒する方法

1) 曼陀羅作成

P380a8

2) 供養 (1)外の供養

P380b2

(2)心供養

(3)三輪無相の供養

3) 七支清淨行

P380b4

(1)供養 *BCA* 2-22

(6)請転法輪 *BHCP* 10

(2)礼拝 *BCA* 2-24

(7)請住世 *BCA* 3-5

(3)身供養 *BCA* 2-8

(8)廻向 *BHCP* 12, *BCA* 3-10

(4)懺悔 *BCA* 2-28, 29, 65

(9)三帰依 *BCA* 2-26

(5)随喜 *BHCP* 9

4) 誓願 *BCA* 3-10, 20, 21

P381a7

5) 発菩提心 (誓願心と発趣心)

P381b3

6) 受戒

P381b5

7) 後の心の増長 *BCA* 3-24-26

P381b7

誓願受持の儀軌

P382a2

2 善友のいない場合の菩薩律儀の受持

1) 三聚淨戒

P382a4

(1)初学者 律儀戒 誓願行

(2)信解行者 善法戒 三昧行

| | | | |
|---------------------|--|-----|--------|
| (3)住地者 | 饒益有情戒 | 歡喜行 | |
| 2) 初学者の誓願行 | | | P382a6 |
| (1)洗面 | 二種のマントラ | | |
| (2)着衣 | 二種のマントラ | | |
| (3)曼陀羅作成 | 三種のマントラ | | |
| (4)曼陀羅の供養 | | | P382b3 |
| (5)七支清浄行 | | | P387b7 |
| (6)念佛 | balimantra | | P383a4 |
| (7)經典読誦 | | | P383a5 |
| (8)誓願 | BCA10-54, 55 | | P383a6 |
| (9)曼陀羅の解放 | | | P383b1 |
| (10)施餓餓 | hāritimantra | | P383b2 |
| (11)食作法 | agrapiṇḍamantra, utsr- ṣṭapiṇḍamantra | | P383b3 |
| (12)日中と夜間の儀軌 | | | P383b4 |
| 3) 信解行者の三昧行と住地者の歡喜行 | | | P383b5 |

まとめの偈頌

Jitāri の「発菩提心儀軌」と「誓願受持の儀軌」の特徴の一は、曼陀羅の前で儀軌が執行される点にある。Jitāri は曼陀羅の作成についてはこの儀軌では説いていない。しかし、Jitāri の著作に *Maṇḍalavidhi* (D No.3763, 4527, P No. 4582, 5440) があり、これによってどのように曼陀羅を作成すればよいか知ることが出来る。Jitāri のこの儀軌については機会を改めてのべるが次のような次第を有している。

帰敬偈

1 rekhādhiṣṭhānamantra をとなえる

2 曼陀羅を作成する

3 曼陀羅の供養

4 七佛通戒偈をとなえる

5 七支清浄行

1) 礼拝

2) 帰依

3) 供養

4) 懺悔

5) 随喜

6) 請転法輪

請住世

7) 廻向

6 発菩提心

ここでも、中観派の菩薩律儀を特徴づける「七支清浄行」がとかれているが、次に「七支清浄行」の展開についてのべておきたい。

(1) 「七支清浄行」が最初にとかれたのは『普賢行願讃』(BHCP)である。第12偈にそれがまとめられているが、「七支清浄行」という言葉は使われていない。

- | | | | |
|-----------------|---------|-------------------------|-----|
| 1) 礼拝 (vandanā) | KK. 1-4 | 5) 請転法輪 (adhyeṣaṇā, 勧請) | K10 |
| 2) 供養 (pūjanā) | KK. 5-7 | 6) 請住世 (yācanā, 懇請) | K11 |
| 3) 懺悔 (deśanā) | K8 | 7) 廻向 (pariṇāmanā) | K12 |
| 4) 随喜 (modanā) | K9 | | |

(2) Nāgārjuna の *Ratnāvali*, 5章の65偈から87偈を別出して、*Ratnāvalyudbhavasaptāṅgavidhigāthāvimśaka*, 『宝鬘中七支儀軌二十偈』(P No. 5428), *Saptāṅgavidhivimśakakārikā*, 『七支儀軌二十偈』(D No. 4515)としてチベット大蔵経におさめられている。タイトルが異なっているだけのものに *Rājaparika-thāratnāvalyudbhavapranidhanagāthāvimśaka*, 『王譯宝鬘所出普願二十偈』(D No. 4388, P No. 5928)がある。Nāgārjuna は RV において「七支の儀軌」について何も説明していないので、本文によってそれをまとめると以下のようになる。

- | | | | |
|---------------------|-----|---------------------------|-----|
| 1) 帰依 (śaraṅgamaṇa) | K66 | 5) 随喜 | K67 |
| 2) 供養 | K66 | 6) 請転法輪 (yācanā, gsol ba) | K68 |
| 3) 礼拝 | K66 | 懇請 | |
| 4) 懺悔 | K67 | 7) 発菩提心 (bodhicittotpāda) | K69 |

以下70-85偈では菩薩の誓願がのべられ、86, 87偈では誓願の福德は無量であると称えられている。したがって次に予想されるのは、無量の福德の廻向であるから、この七支の儀軌とは、「発願廻向の儀軌」と考えられる。

(3) Śāntideva は, *Śikṣāsasamuccaya*, 290, 1-291, 11において「七支清浄行」を懺悔と「三聚 (triskandhaka)」との関係で説明している。しかし *Śāntideva* は「七支清浄行」という言葉を使っていない。彼は「三聚」を罪懺悔と福德随喜と勧請が三つの福德を積集する行為 (triskandhaka) であり、懺悔とは仏への帰依をなしてから三十五仏への懺悔を意味し、これには礼拝が含まれている。勧請には懇請 (yācanā) が含まれる。供養は別の經典で説かれているので省略すると考えている。したがって *Śāntideva* の考える三聚とは、六支の清浄行を意味するのであり、しかもこの六支のすべての行為は福德積集のためのものであるから、

積集された福德の廻向が第七支として予想されている。事実 Śāntideva はこれらのいちいちについてどのような経典で説かれているかを説明するが、廻向についても説明している。以上をまとめると次のようになる。

- 1) 帰依
- 2) 礼拝
- 3) 懺悔, *Upāliparipṛcchā, Akṣayamatisūtra*
- 4) 供養, *Bhadracaryāgāthā, Ratnameghasūtra, Trisamayarāja*
- 5) 随喜, *Bhadracaryāgāthā, Candrapradīpanumodanāparivarta*
- 6) 勧請 (yācanā も含む), *Bhadracaryāgāthā*
- 7) 廻向, *Bhadracaryāgāthā, Vajradhvajaṣarṇīmanā, Daśabhūmikāsūtra, Avalokteśvaravimokāśi*

なお, Śāntideva の *Bodhicaryāvatāra* (BCA) における「七支清浄行」については Jitāri や Prajñākaramati や他の注釈家達の種々の見解がある。

(4) 7c. から 8c. 頃にかけて活躍した Nāgārjuna は *Bodhyāpattideśanāvṛtti* と *Bodhicittotpadavidhi* において「七支清浄行」についてのべている。Nāgārjuna は *Bodhyāpattideśanāvṛtti* (D No. 4005, P No. 5506) を要約して「三聚」と「七浄 (bdun dag pa)」と「四力」になるとのべている。しかし、「三聚」や「四力」については具体的にのべているが、「七浄」についてはのべていない。

三聚

- 1) (1) 懺悔 ((2) 礼拝を含む)
- 2) (3) 随喜
- 3) (4) 請住世 (yācanā, 懇請)
- (5) 請転法輪 (adhyeṣaṇā, 勧請)

四力の懺悔

- 1) 依止力 供養, 発菩提心, 帰依, 礼拝, 懺悔
- 2) 悔過行 礼拝, 懺悔, 勧請
- 3) 制止力 懺悔
- 4) 对治力 廻向, 発願菩提心, 發行菩提心, 発世俗菩提心, 発勝義菩提心, 発願, 帰依

以上をまとめて「七支清浄行」を構成すれば次のようになる。

- 1) 帰依 2) 懺悔 3) 供養 4) 随喜
- 5) 勧請, 懇請 6) 発菩提心 7) 廻向

*Bodhicittotpāda*vidhi (D No. 3966, 4492, P No. 5361, 5405) は「七支清浄行」によって構成された儀軌でそれは次のように考えられている。

- 1) 礼拝 2) 懺悔 3) 随喜 4) 帰依
- 5) 供養 6) 発菩提心 7) 廻向

(5) Jitāri の *BCUSV* においてはすでにのべたように、「七支清浄行」は Śāntideva の *BCA* との関連においてのべられ九種七支としてまとめられている。

- 1) 供養(身供養) 2) 礼拝 3) 懺悔 4) 随喜
- 5) 請転法輪 請住世 6) 廻向 7) 三帰依

Bodhyāpattideśanāvṛttibodhisattvaśikṣākrama (D No. 4006, P No. 5507) では次の七支が考えられている。

- 1) 帰依, 2) 礼拝, 3) 懺悔, 4) 誓願, 5) 請転法輪, 6) 請住世 7) 廻向

MV では前述したごとく考えられている。

- 1) 礼拝, 2) 帰依, 3) 供養, 4) 懺悔, 5) 随喜, 6) 請転法輪, 請住世, 7) 廻向

(6) Prajñākaramati は *Bodhicaryāvatāra*pañjika において「七支清浄行」を *BCA* と対応させつつ次のように考えている。

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-------------------------|
| 1) 礼拝 | <i>BCA</i> 2-25 | 5) 随喜 | <i>BCA</i> 3-2, 3 |
| 2) 供養 | <i>BCA</i> 2-2, 8, 22, 50, 3-5 | 6) 勧請 | <i>BCA</i> 3-4 |
| 3) 帰依 | <i>BCA</i> 2-26, 49 | 懇請 | <i>BCA</i> 3-5 |
| 4) 懺悔 | <i>BCA</i> 2-27, 28, 29, 30, 64, 65 | 7) 廻向 | <i>BCA</i> 3-6, 7, 8, 9 |

(7) Kṛṣṇa (11c. 頃) の *Triskandasādhana* (D No. 4008, P No. 5509) では「七支清浄行」のいちいちについては言及されていないが、「次に礼拝をはじめとする七〔支清浄行〕をなす (du nas phyag ḥtshal sogs bdun bya, P243a7)」とのべられている。

Bodhisattvacaryāvatāraduravabodhananirṇayanāmagrantha (D No. 3875A, P No. 5276) では、1) 供養, 2) 礼拝, 3) 帰依 4) 懺悔, 5) 随喜, 6) 勧請, 懇請, 7) 発願廻向の「七支清浄行」についてのべられている。

(8) *Saptāṅgasaddharmacaryāvatāra* (D No. 3980 P No. 5371) で Śākyāśribhadra は、1) 供養, 2) 礼拝, 3) 帰依, 4) 懺悔, 5) 随喜, 6) 発菩提心, 7) 発願廻向の「七支清浄行」についてのべている。

(9) *Sādhana*māla においては、「七支清浄行」は「七種無上供養」とよばれ、多

(90) Jitāri の *Bodhicittotpādasamādānavidhi* (白 崙)

くの「七支清浄行」がとかれている。それは次の十二支で構成されている。

1) 礼拝, 2) 供養, 3) 懺悔, 4) 不作悪式 (*akaraṇasaṃvara*), 5) 随喜, 6) 廻向, 7) 三帰依, 8) 依仏道 (*mārgāśrayaṇa*), 9) 勧請, 10) 懇請, 11) 廻向, 12) 発菩提心。

たとえば, *SM No. 96, Vajratārasādhana* の著者 Nāgārjuna (7c. 頃) は, 次のように考える。

1) 懺悔, 2) 不作悪式, 3) 随喜, 4) 廻向, 5) 三帰依, 6) 発菩提心, 7) 依仏道

SM No. 24, Khasarpanalokeśvarasābhana では, 次のように考えられている。

1) 懺悔, 2) 随喜, 3) 三帰依, 4) 依仏道, 5) 勧請, 6) 懇請, 7) 廻向。

(10) *Dharmasaṃgraha* 3, 9-11では, 「七種無上供養」は次のように考えられている。

1) 礼拝, 2) 供養, 3) 懺悔, 4) 随喜, 5) 勧請, 6) 発菩提心, 7) 廻向。

以上のことから次の点を明確にし得たと考える。

1 中観派の儀軌は, 「七支清浄行」によって構成されている。

2 「七支清浄行」には Nāgārjuna 流と Śāntideva 流があるが, 「発菩提心」を含むものは Nāgārjuna 流である。

Nāgārjuna 流

『華嚴経』普賢行願讚—Nāgārjuna-Nāgārjuna(7c. -8c.)-Śākyaśribhadra-*Dharmasaṃgraha*.

Śāntideva 流

『華嚴経』普賢行願讚-Śāntideva-Jitāri-Prajñākaramati-Kṛṣṇa.

〈キーワード〉三聚, 四力, 七支清浄行

(神戸女子大学教授)